

上三川町交通安全家庭新聞

2026年

春



★だれもが一度は、通行中や運転中に「危ない!」と思った瞬間があるのではないのでしょうか? そんな「危ない!」瞬間は、なにげない油断によって引き起こされていることがほとんどです。

★交通場面では、ちょっとした油断が命取りになる…と心得て、いま一度気を引き締め、危険を回避するための安全通行・安全運転のポイントをしっかりと実践しましょう。

上三川町・下野警察署
下野地区交通安全協会上三川支部

歩行者

自転車利用者

ドライバー

の皆さん…

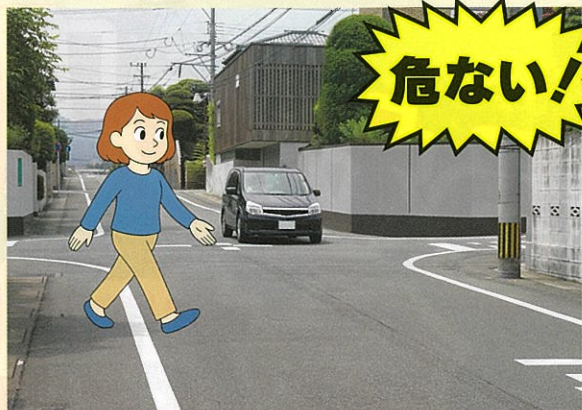
こんなふうに思っていたら**危険**です!!



斜めに渡ったほうが近道だよね…

◆道路を渡るときに“斜め横断”をする歩行者がいますが、“斜め横断”は、真横に横断するときよりも時間がかかるうえに、斜め後ろからきた車に気づきにくくなります。

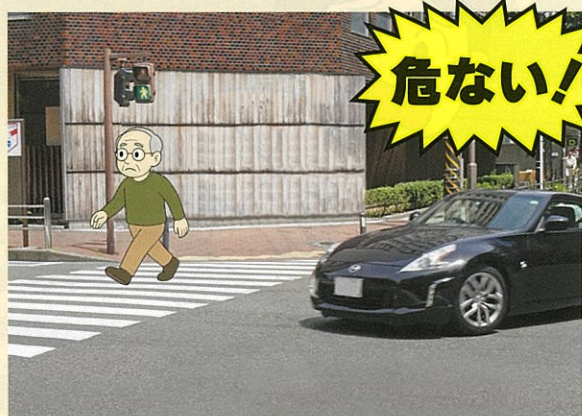
横断前に必ず一度立ち止まり、左右から車がきていないか確認してから、まっすぐ横断する!



横断歩道の信号が青なんだから、車は当然止まるよね…

◆横断歩道の信号が青だと、歩行者は油断して前方だけ見ながら横断しがちですが、横断中に周囲の安全確認を怠ると、無警戒に交差点を右・左折してきた車に気づきにくくなります。

横断前はもちろん、横断中も、交差点の状況を広く見渡し、車が曲がってこないか確認する!



ライトをつけていれば歩行者がいても見えるよね…

◆車のライトは前方右側を十分に照らすことができず、右側から横断してくる歩行者を見落としやすいため、特に夜間は、右側から横断してきた歩行者との死亡事故が多発しています。

こまめにライトを上向きにし、前方右側の暗やみにいる歩行者の早期発見に努める!



車通りの少ない交差点だし、いちいち止まるのは面倒…

◆住宅地に点在する信号がない交差点では、近くに住む自転車利用者が油断し、一時停止と安全確認を怠って交差点に進出しがちです。そのため、自転車と車が出会い頭に衝突する事故が多発しています。

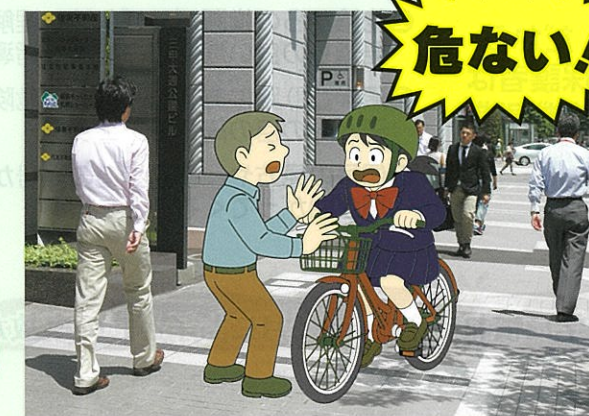
車通りが少ない交差点でも、通行前に必ず一時停止し、車がきていないか確認する!



歩道にいる歩行者が邪魔で走りづらいなあ…

◆自転車が歩道を通れるのは「通行可」の標識・道路標示がある場合などに限られ、歩道を通行できる場合でも歩行者が優先です。それにもかかわらず、歩道を我が物顔で通行している自転車が後を絶ちません。

歩道を通行できる場合でも、歩行者の通行を妨げそうなときは一時停止する!



渋滞しているし、ちょっとスマホを見ちゃおっと…

◆渋滞している道路では、警戒心がゆるみ、ついスマートフォンを操作するなど脇見をするドライバーが少なくありませんが、脇見運転をすると前車の減速・停止に気づくのが遅れて追突する危険があります。

渋滞中でも、前車の急な減速・停止に備えて、いつでもブレーキを踏める構えで追従する!



※運転中のスマートフォンの使用は違反行為です。

幼い子どもを交通事故から守りましょう!

★春は、幼い子どもが新たに通学・通園を始めますが、こうした幼い子どもは、道路の安全な通行方法がまだ身につけていないため、道路上で危険な行動をしがちです。子どもの危険な特性をしっかりと理解したうえで、子どもに対する安全指導を行い、子どもを守るための安全運転をしましょう。



1

道路いきなりとび出すことが多い



2

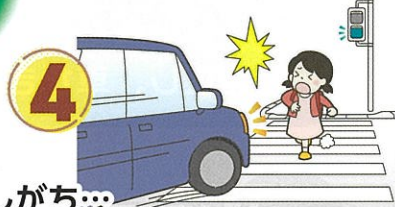
電柱や車などの物陰に姿が隠れやすい

子どもの危険な特性と事故防止のポイント



3

友だちや家族と一緒にだと警戒心が弱くなる…



4

信号が青だと、無警戒に横断しがち…

だから保護者は必ず実践!

- 1 「とび出し」の危険性を理解させ、横断前のストップと安全確認を指導
- 2 物陰からの横断がなぜ危険か理解させ、見通しの良い場所での横断を指導
- 3 通学(園)路にある物陰などの危険個所を子どもの目の高さでチェック
- 4 信号の見方や、横断歩道の信号が青でも車が曲がってくることを指導

だからドライバーは必ず実践!

- 1 特に住宅地の道路では子どものとび出しを警戒しながら通行
- 2 物陰からの子どもの横断を予測
- 3 同伴者がいる子どもを発見したら、不意のとび出しを警戒
- 4 交差点を右・左折するときは、側方に子どもがいないか確認

通学に慣れてきた5～6月にも子どもの事故が多発…継続的な安全指導・安全運転をお願いします!

令和8年 春の交通安全県民総ぐるみ運動

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(金)

運動の期間 令和8年4月6日(月)から15日(水)までの10日間

スローガン 「マナーアップ! あなたが主役です」

- 運動の重点
- 1 通学路・生活道路における子どもを始めとする歩行者の安全確保
 - 2 「ながらスマホ」の根絶や歩行者優先等の安全運転意識の向上
 - 3 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進

